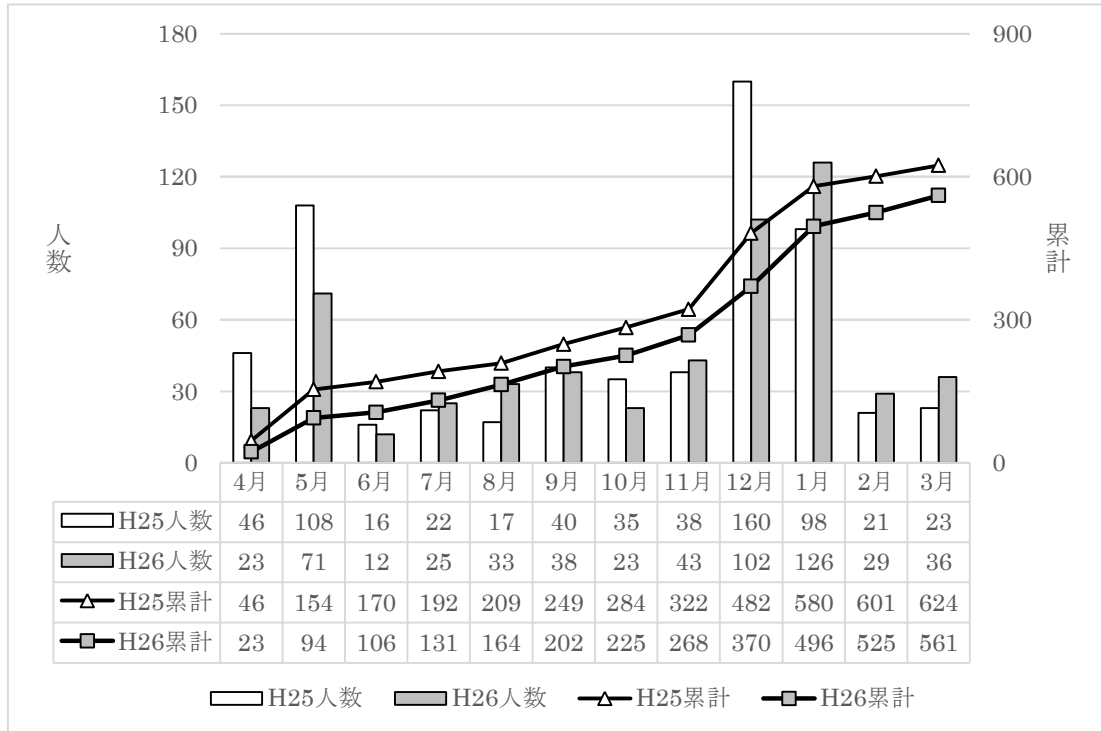


平成26年度 歯科在宅当番医制事業実施報告

1. 受診者数推移および累計

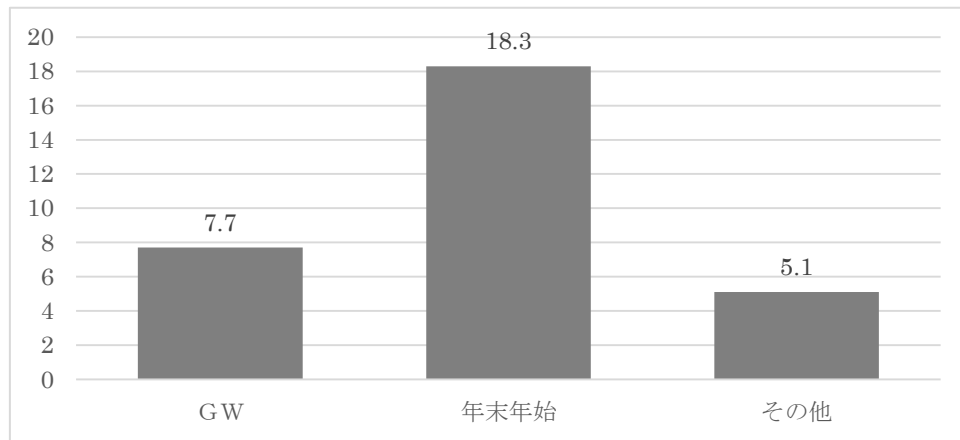


平成26年度の診療総日数は70日で、受診者総数は561名であった。ゴールデンウィークおよび年末・年始は複数機関での対応のため、総医療機関数は79機関であった。

月別に受診者数をみていくと、5月、12月、1月が多く、これは例年と同じ傾向にあった。平成26年度の特徴としては、全体的な受診者が例年より少なく、受診総数は平成25年度の624名に対し、平成25年度は561名と63名の受診減となった。

平成26年度の受診者内訳は男性315名、女性246名と例年通り、男性の受診者数が多かった。(平成25年度の受診者内訳は男性342名、女性282名)

2. 1 医療機関あたりの 1 日平均受診者数



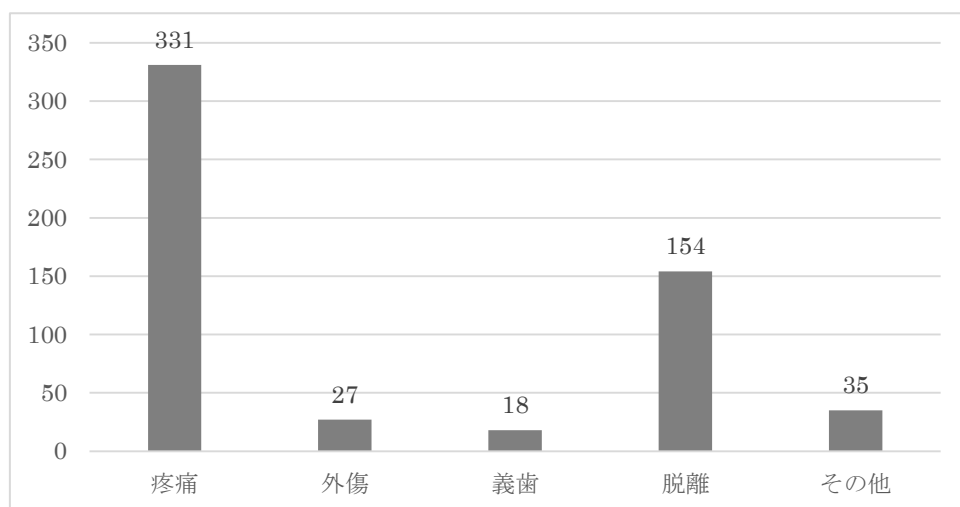
受診者数の最小は1名が3日、最多は48名であった（1月2日の2機関の合計）。1日あたりの受診者数が10名を超えた日は14日あり、ゴールデンウィークと年末・年始がそのうちを占めた。

ゴールデンウィーク期間にあたる5日間では69名が受診し（4/29:7名、5/3:14名、5/4:19名、5/5:19名、5/6:10名）、平成25年度の117名に対し、1日少ない分、48名少ない結果となった。

年末・年始にあたる5日間では183名が受診し（12/30:33名、12/30:47名、1/2:48名、1/3:32名、1/4:23名）、平成25年度の192名に対し9名少ない結果であった。

ゴールデンウィークおよび年末・年始の期間を除く1日平均受診者数は5.1名で平成25年度の5.3名に対しやや少なかった。

3. 主訴別分類



主訴別に来院理由をみると、「疼痛」が最も多く331名で、次いで「脱離」が154名であった。これは平成25年度と比較し、同様の傾向であった。